

2019
おもろ
チャレンジ

イギリスに学ぶエシカルな考え方

農学部 4年

志水 萌

ドイツ

2019年9月9日-

2019年9月27日



渡航概要と内容

[渡航概要]

フェアトレード先進国であるイギリスで、フェアトレード食品がどれだけ受け入れられているのか、またなぜ受け入れられているのかを調査しました。

アルバイト先がコーヒー豆を扱っており、コーヒー豆やカカオ豆のフェアトレードについて知る機会があったため、興味を持ちました。

意識してスーパーの売り場を見てみると、日本ではまだまだフェアトレードマークのついた食品は少なく、フェアトレードに対する消費者の意識・知識も少ないと感じます。

そこで、フェアトレード先進国イギリスとの違いを明らかにし、今後日本でもフェアトレード食品を普及させるために何ができるかを考察しました。

ネットの情報だけでなく自分の足で実際に現地を訪れ、確かめてみたいと思い、今回の渡航を決意しました。

9月10日～9月15日

フェアトレードタウン（フェアトレード普及に力を入れ、公正貿易証明団体からの認証を受けている地区）であるイギリスケンブリッジ地区に滞在。

地区内の4種類のスーパーにて、売り場でフェアトレード食品が置かれている割合、どのようなものが置かれているか、それを購入した人へのインタビューを主に行いました。

この間ケンブリッジ市内のお宅にホームステイさせていただき、イギリスの文化に触れることができました。

9月16日～9月18日

フェアトレードを推進しておられるバーミンガム市役所 持続可能な生活づくり担当の方にお話を聞きました。

イギリス人のフェアトレードに対する考え方やその歴史について、細かく教えていただきました。

9月19日 電車で一日かけてヨークという町に移動しました。

9月20日～9月23日

これまでの調査で、フェアトレードに対する親しみや関心は、教育制度に由来すると考察できたので後半はイギリスのフェアトレードに関する教育について調査することにしました。

ヨーク州立小学校にてフェアトレードに関する授業を見学させていただくとともに、小学生たちにフェアトレードに対する意識調査を行いました。

9月24日～26日

ヨーク大学にてフェアトレードサークルの方々に協力いただき、フェアトレードに関する授業の様子を聞いたり、インタビューを行いました。

この間のヨークでの滞在もホームステイでした。



渡航を通じて感じたこと・学んだこと

- ・自分で計画し、それを計画通り実行することの難しさ

渡航前、入念に計画を練っていたつもりでも、実際に現地に行ってみるとその通り行かないということが多々ありました。

たとえば、英語力が不足し聞き取りに時間がかかる。

インタビューの質問内容がうまく伝わらない。

お話を聞くためにアポイントを取っていたが、ドタキャンされてしまう。

計画通りにならないと焦ることもありましたが、そういう場合にいかに柔軟に対応するか、そして柔軟に対応するためにリスクを予測し他の選択肢をあらかじめ用意しておくことが重要だと学びました。

- ・周りの人の助け

今回私は一人で渡航しましたが、たくさんの人に助けていただきそのありがたみを感じました。

ホームステイ先のマザーが、家にあるフェアトレード食品をあるだけ全部持ってきてくれたり、調査しているならフェアトレード食品でご飯を作ってくれたりして、とても温かな気持ちになりました。

バーミンガム市役所の方は、全部聞き取れなかったらこれを見ると良い、と言って概要をまとめた資料を渡してくださり、大きな助けになりました。

ヨーク大学のフェアトレードサークルの皆さんも、急なアポイントだったにも関わらず快くお話ししてくださり、英語の面でも助けていただきました。

出会ったばかりの私にとっても親切にしてくださる皆さんに感謝するとともに、国を越えても助け合える人々がいるイギリスを、とても素敵な国だと感じました。

今回の経験をどのように今後生かしていくか

私はこの春から食品メーカーに就職し、今後食に携わる仕事をしていくつもりなので、

今回の調査で分かったことを活かして、日本にフェアトレード食品を取り入れることができないか、ビジネスの観点から検討してみたいと思っています。

また、私が現地に行った際、一人で不安なことも多く困難もありましたが、多くの人に助けていただきました。

私も今後は外国の方が日本に来ていたら積極的に不安を和らげてあげたいし、

日本でも外国の方との交流を、様々な形で続けていきたいと思っています。

本プログラムでの渡航を考えている学生へのアドバイス

一人で一から何かを計画し、時間をかけて自分の足で渡航、調査、考察するという経験は学生の今だからできることであり、とても貴重でした。

奨学金をいただいて自分の興味のあることにとことん没頭できる

このような素晴らしいプログラムは他にないと思います。

是非しっかりと計画を練って、渡航期間を有意義なものにしてください。

主な奨学金の使途

*渡航費

*移動費

*食費

*宿泊費

*海外旅行保険 など